

単元名 めざせ 楽器名人

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わり、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けることができる。
- (2) リコーダーの音色やフレーズ、旋律どうしの関わりを聴き取り、そのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) リコーダー・アンサンブルに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

05070105_001

【教材名】星笛（器楽）（P. 24～P. 25）

【準備等】範唱CD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「星笛」の楽曲の感じをつかみ、拍の流れにのって演奏する。</p> <p>★「星笛」の曲想をとらえて、フレーズを感じながら演奏しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 範奏を聴いて、楽曲全体の雰囲気と、8分の6拍子の流れを感じ取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 8分の6拍子の指揮の練習をする。 ・ 範奏に合わせて大きく二つ振りで指揮をしたり、身体表現をしたりする。 ○ 拍の流れにのり、フレーズのまとまりを感じながら、リコーダーで演奏する。 <p>2～3 掛け合いや重なりを感じながら、二つの旋律を合わせて演奏する。</p> <p>★かけ合いや重なりを生かして演奏しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 掛け合いや重なりを感じながら、二つの旋律を合わせてリコーダーで演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 旋律のなめらかな感じを生かして演奏する。 ・ 伴奏に合わせて演奏する。 ○ ペアやグループで楽曲の特徴や曲想を生かした表現の工夫をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ フレーズを変えて演奏し、自分たちのイメージに合う表現の工夫をする。 ○ 演奏を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれのグループの演奏を聴いて、よいところを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指揮の例を大きく板書し、児童が見ながら指揮を振ることができるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> 【新出】8分の6拍子 スラー ・ 手で指揮を振るだけでなく、体も一緒に揺らしながら指揮を振らせるとよい。 ・ タンギングや息継ぎに気を付けて演奏させる ・ 「まなびリンク」の動画を活用してもよい。 【共通事項】拍の流れ フレーズ 【評】拍の流れやフレーズ、音色に注意しながら演奏する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ 分担奏をさせて、フレーズや問いと答えの感じをつかませるとよい。 <ul style="list-style-type: none"> 【共通事項】呼びかけとこたえ 音楽の縦と横の関係 ・ フレーズを変えた演奏（旋律の区切り方を変えた演奏）を教師が演奏して聴かせるとよい 【評】曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するか話し合って演奏する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 【評】曲想と音楽の構造、音色と演奏の仕方とを関わらせて演奏する活動を通して「知識」を評価する。 【評】各声部の音や全体の響きを聴いて音を合わせて演奏する活動を通して「技能」を評価する。

【 備 考 】